



医療法人社団 東峰会

関西青少年サナトリウム

ひるば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして

発行 関西青少年サナトリウム

〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇838番地

TEL 078-967-1202(代表)

FAX 078-967-3626

URL <http://www.tohokai.jp/>

Email office@tohokai.jp

2025年
1月号
第177号



新年あけましておめでとうございます



2025年 年頭にあたりましてごあいさつ申し上げます。

まずは昨年院長を拝命いたしました私と当院が、旧年中大変お世話になりました皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

当院は旧年中を通じまして「選ばれる精神科病院」となることを目指してまいりました。

そのために最も重視することが、安全と信頼です。本年もそれは変わらず、さらにその質を上げるべく努力致します。患者さんやその御家族、法人内外の医療、福祉関係者から信頼され、必要な支援、サービスを必要な時に提供できる医療機関であることが最も重要であると考えています。

常時対応型精神科施設として1年を通して、緊急性のあるケースを中心として、時を問わずに対応してきました。また、様々な年齢、背景のある患者さんを支援することができるよう、職員一同研鑽と意識の改革に努めました。

精神科医療でも、入院中心から地域へ、あるいは主な対象疾患が精神病圏からそれ以外になって行くなどのパラダイムシフトといえることが起こっています。これまで当院は、いち早く対処してまいりました。本年もそれは変わらず、児童、思春期の方から、高齢の方、ジェンダーの問題について、発達にまつわること、インターネット、ギャンブル、など新しくクローズアップされた問題などにできる限り対応できるように医療機関でありたいと考えています。もちろんそのためには、我々職員のさらなる知識や技能の向上が常に必要とされることは共通の認識と考えています。

精神科領域のみならず、医療の進歩に対して常に意欲をもって知識の吸収を心掛けるとともに、公的機関の指導を仰ぎつつ、精神的に、医療関係全般にも法令順守の意識を高く持って職務に当たってまいりたいと考えております。そのことが選んでいただいた患者さんやご家族、さらには当院の職員の安全と、信頼につながることだと考えています。

「選ばれる精神科病院」となるために、本年も質の高い医療、サービスを提供し、地域社会との連携を重視しつつ、医療と福祉のトータルサポートのできる医療機関であると同時に、運営の透明性を保って参りたいと思いますので、何卒、皆様の温かいご支援とご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

院長 鬼頭 あつ志





第5回 関西青少年サナトリウム

オンラインセミナーを振り返って

ここが元気になる情報を少しでも多くの方に届けたいとの思いから、当院では、2022年度よりどなたでも気軽に参加いただけるオンラインセミナーを開催しております。5回目を迎えた今回は、高齢者外来担当の阪井一雄医師より、「**高齢者ケアにおいて医師・医療のできること**～日本老年精神医学会専門医の立場から～」というテーマで講演を行いました。



開催日 2024年10月19日(土)

講師 神戸学院大学総合リハビリテーション学部作業療法科教授
関西青少年サナトリウム非常勤医師
阪井 一雄

内容 認知症診断について
高齢者に対し医療機関でしかできない介入(投薬・入院)について など

アンケートより

- 高齢者と同居する家族として、とても参考になった。
- 精神科における認知症臨床が垣間見れて、大変勉強になった。
誰が聞いても分かりやすい内容だった。
- 高齢者に対しての認知症の診断の在り方が大変理解できた。
- 病院でどんな事をしているのか、今回のセミナーに参加して知ることができた。
- 認知症診断や医療機関での介入についての実際を学べ、知識の向上につながった。
- 医師である講師が、率直に医療で出来ることには限りがあると語っていたのが印象的だった。
- 高齢者の睡眠時間が4～5時間で十分だということに驚いた。眠れないと訴える高齢者が多い中、それで十分であることがよくわかった。
- 認知症は、生前は確定診断ができないという点は驚いた。
- 高齢者への投薬はリスクが高く、効果が低いが副作用が出やすいため、普段からよく観察することが必要だと学んだ。



次回オンラインセミナーについて

次回のオンラインセミナーは2025年4月を予定しています。ご案内はホームページやポスターにてお知らせいたします。皆様、お気軽にご参加ください。



「ご家族のための元気がでるプログラム」の紹介

「ご家族のための元気がでるプログラム」はその名の通り、ご家族自身が元気になることを目的としています。精神障害を持つ方のご家族にとっての心配事や困りごとに焦点を当て、ご家族同士でグループでの話し合いを行い、関わり方や対応方法についてみんなでアイデアや工夫していることを出し合っています。原則として年間5回のプログラムに参加していただいています。グループは少人数制で、30分程度の講義の後、グループでの話し合いをしています。スタッフはグループでの話し合いが円滑にすすむようサポートしています。参加されているご家族の笑顔が少しずつ増えていくような場所にしていきたいと考えています。



季節に合わせたお食事紹介

ご入院中の患者さんに、お食事を通して季節・行事を感じて頂けるよう工夫したメニューをお出ししています。今回はその一部を紹介します。



関サナスタッフを紹介します



よこた あつし
横田 敦史 就労継続支援B型作業所
Amu所長

出身：島根県
趣味：ゲームをすること



仕事をしていてどんなところに
やりがいを感じますか？

みなさんがいきいきと仕事をしているところを見ると、とても嬉しい気持ちになります。

今後していきたいことは？

利用者さんがやりがいを持てる仕事を、もっとたくさん見つけていきたいです。みなさんの希望する仕事をどんどん実現していきたいです。

みなさんに一言どうぞ

Amuのレストランやカフェのご利用お待ちしております。手作りのクッキーや焼き菓子の購入もぜひよろしくお願いします。

外来担当医のご案内

専門外来担当医のご案内

- ☆＜児童思春期外来＞毎週月曜午後 **完全予約制**（担当：内藤医師）
- ☆＜発達障害専門外来＞第3金曜午後（月1回） **完全予約制**（担当：上月医師）
- ☆＜高齢者外来＞毎週火曜午後 **完全予約制**（担当：阪井医師）

外来再診担当医 受付時間 **午前 8:50～12:00 午後 13:00～16:30**

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:15～12:00	狩場 9:40～	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後診 13:00～16:50	石橋 内藤（思春期 外来）	西村 阪井（高齢者 外来）	岡本	浅井	頼堀本	当番医

初診外来・入院 担当医

曜日別に下記の常勤医師を中心に、上記の外来再診担当医以外の医師が診察します（順不同）

月	火	水	木	金	土
向井	石橋	浅井	河村	塚本	当番医①
岡本	堀本	塚本	向井	狩場	当番医②
浅井	内藤	鬼頭	佐伯	瀬川	当番医③
堀本	河村	佐伯	狩場	石橋	
鬼頭	向井	瀬川	塚本	岡本	

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は巳年ですね。「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味するそうです。私自身色々な事にチャレンジして内面から変化していきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

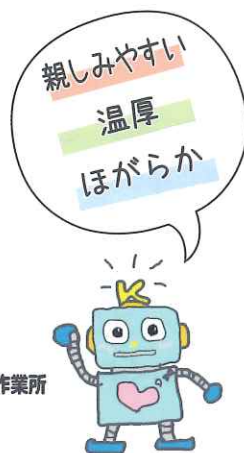
（医事課：山崎麻維子）

関サナスタッフを紹介します



よこた あつし
横田 敦史 就労継続支援B型作業所
Amu所長

出身：島根県
趣味：ゲームをすること



仕事をしていてどんなところに
やりがいを感じますか？

みなさんがいきいきと仕事をしているところを
見ると、とても嬉しい気持ちになります。

今後していきたいことは？

利用者さんがやりがいを持てる仕事を、もっと
たくさん見つけていきたいです。みなさんの
希望する仕事をどんどん実現していきたいです。

みなさんに一言どうぞ

Amuのレストランやカフェのご利用お待ちしております。
手作りのクッキーや焼き菓子の購入も
ぜひよろしくお願いします。

外来担当医のご案内

専門外来担当医のご案内

- ☆＜児童思春期外来＞毎週月曜午後 **完全予約制**（担当：内藤医師）
- ☆＜発達障害専門外来＞第3金曜午後（月1回） **完全予約制**（担当：上月医師）
- ☆＜高齢者外来＞毎週火曜午後 **完全予約制**（担当：阪井医師）

外来再診担当医 受付時間 **午前 8:50～12:00 午後 13:00～16:30**

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:15～12:00	狩場 9:40～	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後診 13:00～16:50	石橋 内藤（思春期 外来）	西村 阪井（高齢者 外来）	岡本	浅井	頼 堀本	当番医

初診外来・入院 担当医 曜日別に下記の常勤医師を中心に、上記の外来再診担当医以外の医師が
診察します（順不同）

月	火	水	木	金	土
向井	石橋	浅井	河村	塚本	当番医①
岡本	堀本	塚本	向井	狩場	当番医②
浅井	内藤	鬼頭	佐伯	瀬川	当番医③
堀本	河村	佐伯	狩場	石橋	
鬼頭	向井	瀬川	塚本	岡本	

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は巳年ですね。「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」
を意味するそうです。私自身色々な事にチャレンジして内面から変化していきたいと思います。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（医事課：山崎麻維子）

医療法人社団 東峰会
関西青少年サナトリウム
ひろば
敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして

発行 関西青少年サナトリウム
2025年
1月号
第177号
〒651-2403
神戸市西区岩岡町西脇838番地
TEL 078-967-1202(代表)
FAX 078-967-3626
URL <http://www.tohokai.jp/>
Email office@tohokai.jp



新年あけましておめでとうございます



2025年 年頭にあたりましてごあいさつ申し上げます。

まずは昨年院長を拝命いたしました私と本院が、旧年中大変お世話に
なりました皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

本院は旧年中を通じまして「選ばれる精神科病院」となることを目指して
まいりました。

そのために最も重視することが、安全と信頼です。本年もそれは変わらず、さらにその質を上げるべく
努力致します。患者さんやその御家族、法人内外の医療、福祉関係者から信頼され、必要な支援、
サービスを必要な時に提供できる医療機関であることが最も重要であると考えています。

常時対応型精神科施設として1年を通して、緊急性のあるケースを中心として、時を問わずに対応
してきました。また、様々な年齢、背景のある患者さんを支援することができるよう、職員一同研鑽と意識
の改革に努めました。

精神科医療でも、入院中心から地域へ、あるいは主な対象疾患が精神病圏からそれ以外になって
行くなどのパラダイムシフトといえることが起こっています。これまで本院は、いち早く対応してまいりました。
本年もそれは変わらず、児童、思春期の方から、高齢の方、ジェンダーの問題について、発達にまつわ
ること、インターネット、ギャンブル、など新しくクローズアップされた問題などにできる限り対応できるような
医療機関でありたいと考えています。もちろんそのためには、我々職員のさらなる知識や技能の向上が
常に必要とされることは共通の認識と考えています。

精神科領域のみならず、医療の進歩に対して常に意欲をもって知識の吸収を心掛けるとともに、
公的機関の指導を仰ぎつつ、精神的に、医療関係全般にも法令順守の意識を高く持って職務に
当たってまいりたいと考えております。そのことが選んでいただいた患者さんや
ご家族、さらには本院の職員の安全と、信頼につながることだと
考えています。

「選ばれる精神科病院」となるために、本年も質の高い医療、
サービスを提供し、地域社会との連携を重視しつつ、医療と福祉
のトータルサポートのできる医療機関であると同時に、運営の透明
性を保って参りたいと思いますので、何卒、皆様の温かいご支援
とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

院長 **鬼頭 あつ志**





第5回 関西青少年サナトリウム

オンラインセミナーを振り返って

ところが元気になる情報を少しでも多くの方に届けたいとの思いから、当院では、2022年度よりどなたでも気軽に参加いただけるオンラインセミナーを開催しております。5回目を迎えた今回は、高齢者外来担当の阪井一雄医師より、「**高齢者ケアにおいて医師・医療のできること～日本老年精神医学会専門医の立場から～**」というテーマで講演を行いました。



開催日 2024年10月19日(土)

講師 神戸学院大学総合リハビリテーション学部作業療法科教授
関西青少年サナトリウム非常勤医師
阪井 一雄

内容 認知症診断について
高齢者に対し医療機関でしかできない介入(投薬・入院)について など

アンケートより

- 高齢者と同居する家族として、とても参考になった。
- 精神科における認知症臨床が垣間見れて、大変勉強になった。
誰が聞いても分かりやすい内容だった。
- 高齢者に対しての認知症の診断の在り方が大変理解できた。
- 病院でどんな事をしているのか、今回のセミナーに参加して知ることができた。
- 認知症診断や医療機関での介入についての実際を学べ、知識の向上につながった。
- 医師である講師が、率直に医療で出来ることには限りがあると語っていたのが印象的だった。
- 高齢者の睡眠時間が4～5時間で十分だということに驚いた。眠れないと訴える高齢者が多い中、それで十分であることがよくわかった。
- 認知症は、生前は確定診断ができないという点は驚いた。
- 高齢者への投薬はリスクが高く、効果が低い副作用が出やすいため、普段からよく観察することが必要だと学んだ。



次回オンラインセミナーについて

次回のオンラインセミナーは2025年4月を予定しています。ご案内はホームページやポスターにてお知らせいたします。皆様、お気軽にご参加ください。

「ご家族のための元気がでるプログラム」の紹介

「ご家族のための元気がでるプログラム」はその名の通り、ご家族自身が元気になることを目的としています。精神障害を持つ方のご家族にとっての心配事や困りごとに焦点を当て、ご家族同士でグループでの話し合いを行い、関わり方や対応方法についてみんなでアイデアや工夫していることを出し合っています。原則として年間5回のプログラムに参加していただいています。グループは少人数制で、30分程度の講義の後、グループでの話し合いをしています。スタッフはグループでの話し合いが円滑にすすむようサポートしています。参加されているご家族の笑顔が少しずつ増えていくような場所にしていきたいと考えています。



季節に合わせたお食事紹介

ご入院中の患者さんに、お食事を通して季節・行事を感じて頂けるよう工夫したメニューをお出ししています。今回はその一部を紹介します。

